



**BRAVE
STUDY**

甲状腺癌を診察・治療されている先生方へ

甲状腺未分化癌に対するBRAF変異の頻度とBRAF阻害薬の有効性と安全性を検証する多機関共同観察研究（BRAVE study）のご案内

日本内分泌外科学会 甲状腺癌集学的治療委員会では、
甲状腺未分化癌を対象とした観察研究を行っています。お心当たりの患者様がいらっしゃいましたらぜひ本研究へご参加をお願いいたします。

《BRAVE studyの概要》

目的：甲状腺未分化癌（ATC）症例に対するBRAF 阻害薬による治療の実臨床での有効性と安全性を検討する

研究デザイン：既存情報のみを用いた多機関共同、観察研究

総登録患者数：甲状腺未分化癌 200例

（ただし、期間内でBRAF 阻害薬投与ATC患者 50例に達した時点で終了とする）

対象患者	
選択基準	① 2023年11月24日～2026年12月31日までの間に、組織学的にATCと診断された20歳以上の患者
除外基準	① 活動性の重複癌を有する患者（局所治療により治癒可能と判断される Carcinoma in situ（上皮内癌）もしくは粘膜内癌相当の病変は活動性の重複がんに含まないこととする）
	② 本研究に不適格であると研究者等が判断した患者
	③ 本研究へのデータ提供を拒否した患者

詳しくは、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ：菅沼伸康（横浜市立大学附属病院 乳腺・甲状腺外科）

email：suganuma@yokohama-cu.ac.jp

また、説明会の動画やjRCTの情報もごさいます。併せてご活用ください。

jRCT (<https://jrct.mhlw.go.jp/> 計画番号；1031240365)

説明会動画 (URL：<https://youtu.be/W29jx8qVKSQ>)